

(様式 5)

### 着床前診断 症例別 経過報告書

症例情報:

日本産科婦人科学会承認番号 20 -

疾患名(習慣流産の場合は核型)

西暦 年: 当該年は ART 実施せず ART 実施あり 1)

今後の見込み: ART 継続予定 未定 ART 終了 2)

ART 情報: 「ART 実施あり」の場合、過去にさかのぼり 報告してください。

(採卵を複数回実施した場合や、胚移植回数が多い場合は、状況に応じて追加してください)

採卵:

西暦 年 月(日産婦 ART 登録番号:E- )

解析: 西暦 年 月(採卵月と異なる場合に記載)

生検胚数: 移植可能胚数:

採卵:

西暦 年 月(日産婦 ART 登録番号:E- )

解析: 西暦 年 月(採卵月と異なる場合に記載)

生検胚数: 移植可能胚数:

胚移植:

① 西暦 年 月 日産婦 ART 登録番号 E-

② 西暦 年 月 日産婦 ART 登録番号 E-

③ 西暦 年 月 日産婦 ART 登録番号 E-

実施施設 および 担当者

施設名

実施責任者

報告者

(様式 4) で実施登録した症例は、症例毎に毎年報告してください(毎年 3 月末までに提出)。複数の採卵周期・凍結融解胚移植周期を含め、治療継続中は症例毎に過去にさかのぼって報告してください。「治療終了」と報告された症例は、それ以降の報告の義務はありません(もし、再開した場合は、再度、報告してください)。

- 1) ART (採卵、胚移植) を実施していない場合でも、提出してください。
- 2) 今後の見込みが終了と報告された症例は、次年の報告の義務はありません。継続、あるいは未定となった症例は、次年も必ず報告してください。